

経営比較分析表（平成29年度決算）

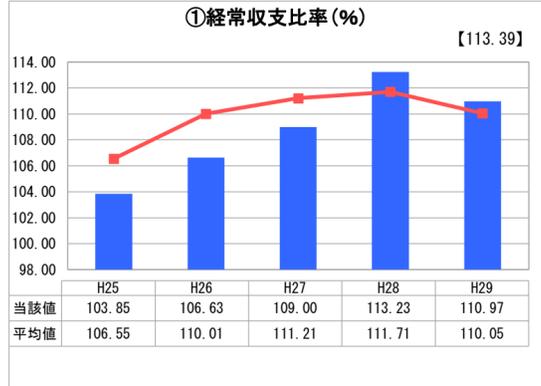
静岡県 大井上水道企業団

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	その他
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	88.62	93.62	2,248	

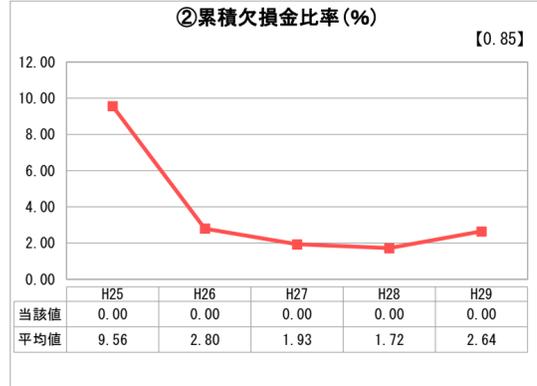
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
-	-	-
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
20,132	32.42	620.97

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成29年度全国平均

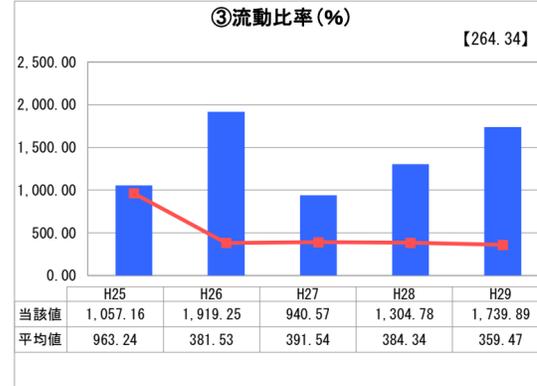
1. 経営の健全性・効率性



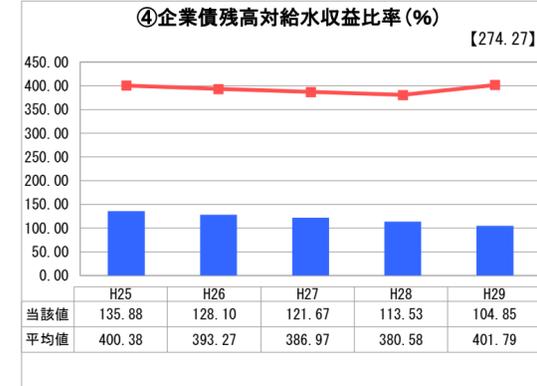
「経常損益」



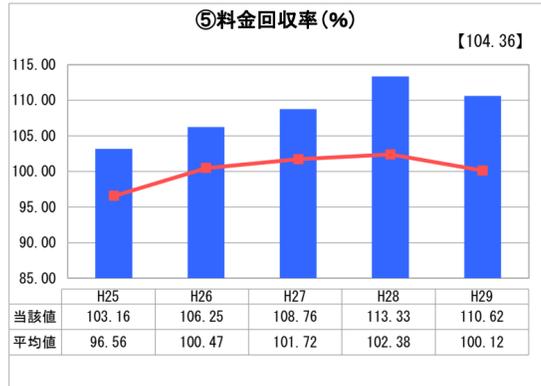
「累積欠損」



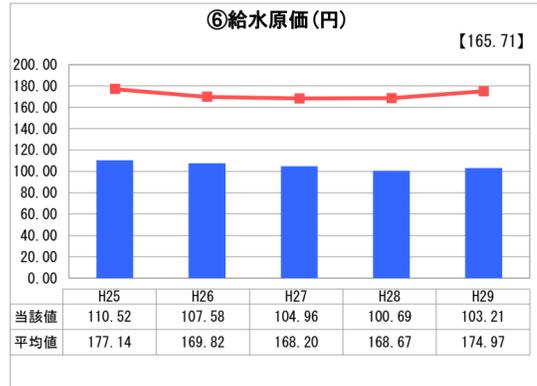
「支払能力」



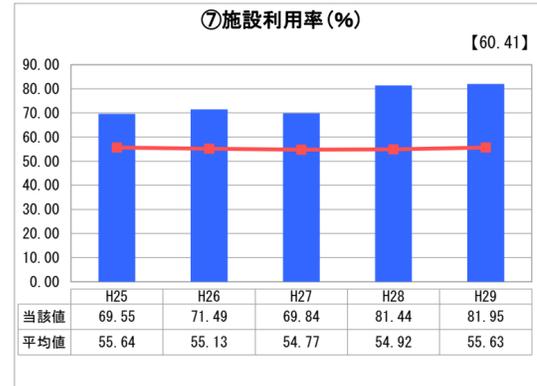
「債務残高」



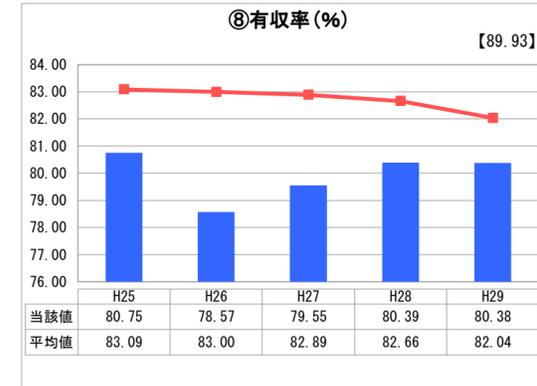
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

分析欄

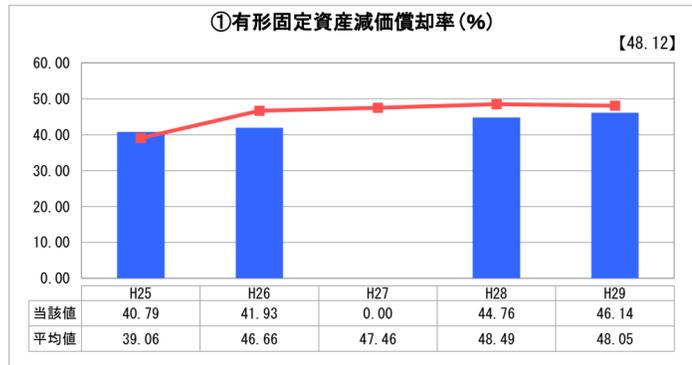
1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は黒字を示す100%を超えている。累積欠損比率は0%であり、累積欠損金はない。流動比率は、1,739%であり、短期的な債務に対する不安はない（支払い能力は高い）。企業債対給水収益比率は低く、概ね1年分の給水収益と企業債保有高が同規模である。

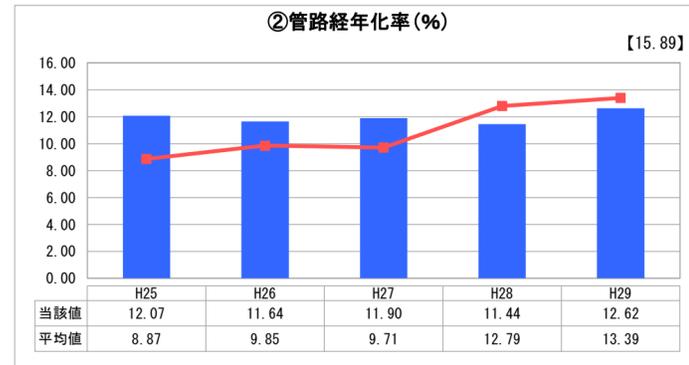
2. 老朽化の状況について

老朽化した管路は、全体の12.62%と平均を僅かに下回っている。管路更新率は、0.63%と平均値を僅かながら上回っている。しかし、管路更新率が0.63%の場合、全管路の更新には158年程度を要することとなる。その場合、老朽化率が大きく上昇することとなるため、老朽化対策を推進する必要がある。

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

全体総括

経営成績は比較的良好であると言え、料金回収率も良くかつ給水原価も平均値に比べ安価であるが、健全な資産維持のため、今後償却資産の更新に大きな資金が必要となる事から、計画的な資金確保と安心安全な経営をおこなう必要がある。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。